

「今は我慢をしよう・ルールを守って」

学校運営協議会 古賀 和男

いしべっ子のみんな元気ですか！お父さん、お母さんの言うこと聞いてますか。規則正しい生活を送れていますか。新型コロナウイルスは、身体へのダメージだけではなく、毎日の自由な生活まで束縛しました。反面、平和で穏やかな普通の生活が送れる事がいかにありがたいかを気づかされました。

日本では、コロナ感染が収束に向かっていますが、終息したわけではありません。

まだ、世界では毎日10万人単位の感染者があり、多くの方が亡くなっています。

幸いにして湖南省では現在一人も感染者が出ていません。

これは、みんなが我慢して行動を自粛しているからです。

油断したら、第2波・第3波が来ると言われています。

学校が再開されても、3密を避けるために今までのように友達とスキンシップが図れないかも知れません。

自分だけは、自分達だけは大丈夫だろうと安易な行動を取れば、又多くの人を巻き込み感染が拡大します。

予防のために、うがい・手洗い・咳エチケットを必ず守りましょう。

そうすれば、みんなで学校のグラウンドを思いっきり駆け回れる日が早く来ます。

その日のために、お父さん、お母さん、そして地域の方達でグラウンドを綺麗に整備して待っています。

だから、今はもう少し我慢をしよう。ルールを守ろう。

自分を守るために、友達を守るために！

子どもたちが、学校に帰ってきてくれました・・・「お帰りなさーい！」

まだまだ新型コロナウイルス感染症が終息したわけではありません。だから、制約も多くある中で学校の再開ですが、それでも子どもたちに出会えることはうれしいです。やっぱり、「子どもたちの笑顔はいいなあ！」と実感しています。

でも、子どもたちは、今までに経験したことのない長期にわたる休校期間を経ての学校再開に、誰もが少なからず不安を抱えていることでしょう。ウイルスへの対応とともに、私たちは、子どもたちの不安にいっしょに向き合っていきたいという思いをもって、リスタートを切りました。

保護者のみなさん、この休校期間中の言葉に尽くせないご協力に心より御礼申し上げます。本当にありがとうございました。この3カ月、子どもたちといっしょに過ごされる中でいただいた「石部の声」ひとつひとつのメッセージの重みを感じています。保護者の視点からいただいた声は、私たちにとっての励ましとなり、指針となり、みなさんをつなぎました。さらに、お子さんを愛する思いにふれ、その大事なお子さんをまた学校でお預かりするんだという使命を改めて深く感じています。そして、このような時期であるからこそ、皆様のお力をいただきたい、皆様と思いを共有しながら一緒に乗り切りたいと切に願っております。どうか今後ともご支援のほどよろしくお願い申し上げます。

(法山 由紀子)